

周年型観光農園

（有限会社エコファームうちこ）

<法人の概要>

所在地：愛媛県喜多郡内子町大瀬東

設 立：平成18年4月25日

資本金：800万円 売上高：1600万円（平成22年）

構成員（議決権）：農業従事者4名（100%）

役 員：4名（うち農作業従事4名）

従業員数：常時雇用者3名、臨時雇用者5名

経営面積：5ha（うち所有3ha、借入2ha）

作付作物：イチゴ0.4ha、ブドウ1.3ha、ブルーベリー0.7ha、モモ0.4ha
その他2.2ha



エコファームうちこ全景



観光イチゴ園

<営農を開始するまでの状況>

平成7年度に行政の呼びかけで、地域の農業振興、農業の抱える問題等の勉強会を定期的を実施し、その中で若い人の働く場の確保を目的とした法人化による観光農園の開園が持ち上がった。しかし地域性もあり既存の農地での集積化は困難と思われたので、新たに山林を農地造成（平成14～18年）して、換地業務によって関係者の所有農地及び借地可能な農地を集積することで、続き地での5haの農地が確保された。

農業生産法人（会社）の設立は、農地造成工事の最終年度で、工事の完了と共にイチゴ、ブドウ、ブルーベリー、モモ、リンゴ等を植栽したが、新規の造成地であるために、地力に乏しく予定していた生育がみられなかった。当初の目的である、地域に若い人を残したいとの思いは現在、3人（20～30代）の雇用はあるが、果樹が幼木で十分な生産があがっていないので、今後は生育に合わせて雇用を増やしていく予定である。

＜特徴的な取組＞

社名にエコの文字を使用している様に、「人にやさしい・土にやさしい」観光農園をめざしている。

できるだけ、車イスでの入園を可能とした園内、子供たちが自ら収穫できる高さとした果樹棚や、減農薬、減化学肥料に務めた栽培方法などを行っている。

他の企業や、ＪＡ等からの出資は受け入れていないが、資材の購入、生産された農産物の販売において協力を頂いている。

また、観光農園によるもぎ取りと持ち帰りとしての販売のほか、農産物直売所への出荷、インターネットによる販売、内子町観光協会との情報提供、連携を行っている。

＜今後の農業経営の展開方向＞

今後、農地の規模拡大、縮小は計画されていないが、造成工事の同一団地内に未耕作地が発生した場合は、受け皿としての耕作を行う予定である。また、現在は10種の果物によって周年での観光もぎ取り園をめざしているが、この中には気候的に困難な作物も出てくると予想されるのでその様な場合は適時に改植を行う必要があり、新規作物に挑戦することもあると考えている。

また、現在は観光農園としての収益は、全体の25%程度であり、残りは出荷販売であるが、今後は集客に努め、これを50%まで高めたい。その為には情報発信とリピーターの確保が大切と考えている。

生産量の増加と共に将来はジャム、ソース等の加工（自社又は委託）も手がける他、自社の直売所を国道沿いに設置する予定である。



低く仕立てたブドウ棚



杉の樹皮を敷き詰めたブルーベリー園